

## 平成26年度現地検討会実施状況（間伐の推進と丈夫な森林作業道づくり）

分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
森林作業道	森林作業道現地検討会	5月26日	留萌北部森林管理署	天塩町（留萌北部署国有林）	国有林	30名	森林作業道のルート選定及び作設技術を向上を図る。	・森林作業道の配置について机上検討を行った後、現地踏査を行いその線形の適も含め意見交換し、林地崩壊に注意することも合わせて確認。 ・講師から「土場予定地を夏場の林野巡視で土質など確認することも参考になる」との助言を受けた。	
					民有林	名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	30名			
スイッチバックの作設状況									
間伐	国有林間伐箇所現地見学会	7月17日	後志森林管理署	壮瞥町（後志署国有林）	国有林	8名	民有林関係者や林業事業体の搬出間伐の低コスト化に対する意識の醸成を図る。	・後志地域の森林・林業・木材産業の現状、事業概要の説明を行った後、民間競争入札による複数年契約による間伐箇所を見学し意見交換を行った。 ・伐採列や作業道を事業体が選定するなど簡素化が進んだ。 ・民有林への複数年契約導入にあたっての問題点についての意見が出された。	
					民有林	22名			
					事業体	22名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	52名			
土場の状況									
森林作業道	林業専用道を活用した森林作業道作の検証・検討会	8月4日	北海道森林管理局資源活用第二課 石狩森林管理署 空知森林管理署 胆振東部森林管理署 日高南部森林管理署	小樽市（石狩署国有林）	国有林	41名	林業専用道モデル路線上の森林整備箇所で、実施結果に基づいた検証と意見交換を行い、技術の向上を図る。	・平成25年度に作設した森林作業道の計画時と実行時を比較した内容で意見交換を図った。	
					民有林	11名			
					事業体	23名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	75名			
現地を見ての意見交換									
間伐	地域林政連絡会議（列状間伐現地検討）	8月20日	檜山森林管理署	厚沢部町（檜山署国有林）	国有林	6名	民有林への列状間伐の導入と推進を図る。	・国有林で実行中の列状間伐地において、伐採幅や作業道の作設方法、作業仕組み等について現地検討を実施し、民有林において列状間伐を推進するため、森林所有者の理解を得る方法、間伐を実施する事業体の育成の必要性などについて意見交換を実施した。	
					民有林	21名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	27名			
列状間伐の実施状況									
森林作業道	作業道作設地域コアメンバー現地検討会	9月3～5日	北海道森林管理局資源活用第二課 旭川事務所 空知森林管理署 上川中部森林管理署 上川南部森林管理署	占冠村（上川南部署国有林） 芦別市（空知署国有林） 美瑛町（上川中部国有林）	国有林	95名	森林作業道の品質について一定水準を確保するため、監督職員の指導基準の統一化を図る。	・森林作業道作設状況確認表（案）、確認表の指導基準（案）について分かりやすいか、現場で指導や改修指示できるものとなっているか等について、地域コアメンバー及び署の担当者（森林官含む）で検討・議論を行った。	
					民有林	名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	95名			

## 平成26年度現地検討会実施状況（間伐の推進と丈夫な森林作業道づくり）

分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
間伐	森林計画実行管理技術研修会	9月22日	上川総合振興局南部森林室 上川中部森林管理署	美瑛町（民有林）	国有林	4名	民国連携による人工林における低コスト施業の推進に向けた技術普及を図る。	・市町村森林整備計画実行管理推進チームの活動の一環として実施し「人工林間伐の必要林分の簡易判定法現地研修会」と合同で開催し、人工林における低コスト施業について、列状間伐施業の推進及び普及を内容として情報交換や意見交換を実施した。	
					民有林	55名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	59名			
簡易判定法の実施									
間伐	林政連絡調整会議（現地視察）	9月30日	十勝西部森林管理署	広尾町（十勝西部署国有林）	国有林	5名	列状間伐における効率的な森林作業道の作設方法と、列状間伐への高性能林業機械導入に向けた情報共有と技術の普及を図る。	・国有林において「フェラーバンチャ付きグラブバケット」を装着したバックホウによる路網作設作業、高性能林業機械（ハーベスタ・グラブバ・プロセッサ・フォワーダ）による列状間伐の一連作業のデモンストレーションを行い、高性能林業機械を活用した列状間伐に向けた意見交換を実施した。	
					民有林	4名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	9名			
高性能林業機械の作業									
森林作業道	森林作業道現地検討会	10月14日	北海道森林管理局資源活用第二課 北見事務所 網走中部森林管理署 網走南部森林管理署	津別町（網走南部署国有林）	国有林	35名	森林作業道の品質について一定水準を確保するため、監督職員の指導基準の統一化を図る。	・森林作業道作設状況確認表（案）、確認表の指導基準（案）について分かりやすいか、現場で指導や改修指示できるものとなっているか等の内容について、地域コアメンバー及び署の担当者（森林官含む）で検討・議論を行った。	
					民有林	名			
					事業体	1名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	36名			
森林作業道の品質確認									
作業システム	平成26年度宗谷地区森林森林計画実行管理技術研修会	10月15日	宗谷森林管理署	猿払村（宗谷署国有林）	国有林	6名	高性能林業機械による効率的な集材方法の情報共有と技術の普及を図る。	・国有林内で実施している高性能林業機械を使った効率的な作業システムについての情報提供と、国有林の列状間伐箇所においてフォワーダによる集材方法等について現地検討を実施した。	
					民有林	29名			
					事業体	19名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	54名			
高性能林業機械の説明									
森林作業道	森林作業道現地検討会	10月15日	北海道森林管理局資源活用第二課 北見事務所 網走西部森林管理署西紋別支署	紋別市（西紋別支署国有林）	国有林	40名	森林作業道の「一定レベル」の作設基準、監督指導に必要な細部事項についての理解と技術の向上を図る。	・事業実行済みの森林作業道において、この森林作業道の作設オペレーター、近隣署職員、地域コアメンバーの参加により、一定レベルの森林作業道作設基準について検討し、意見交換を行った。	
					民有林	名			
					事業体	1名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	41名			
森林作業道の一定レベルの作設基準に関する検討									

## 平成26年度現地検討会実施状況（間伐の推進と丈夫な森林作業道づくり）

分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真												
森林作業道	森林作業道現地検討会	10月24日	北海道森林管理局資源活用第二課 函館事務所 渡島森林管理署 檜山森林管理署	今金町（渡島署国有林）	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>42名</td></tr> <tr><td>民有林</td><td>名</td></tr> <tr><td>事業体</td><td>4名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>46名</td></tr> </table>	国有林	42名	民有林	名	事業体	4名	研究機関	名	その他	名	合計	46名	一定レベルに達していない請負事業体の技術向上に向けた指導基準などの技術の普及を図る。	・資源活用担当者及び森林官等の監督職員、現場代理人、オペレーター、森林作業道地域コアメンバーにより、一定レベルに達していない請負事業体の技術向上に向けた取組のために作成した、森林作業道作設状況確認表（案）、確認表の指導基準（案）、一定レベル以上の森林作業道作設に向け（案）の内容などについて検討を行った。	
国有林	42名																			
民有林	名																			
事業体	4名																			
研究機関	名																			
その他	名																			
合計	46名																			
森林作業道	森林作業道現地検討会	10月29日	北海道森林管理局資源活用第二課 石狩森林管理署 胆振東部森林管理署 日高北部森林管理署 日高南部森林管理署	日高町（日高北部署国有林）	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>34名</td></tr> <tr><td>民有林</td><td>名</td></tr> <tr><td>事業体</td><td>4名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>38名</td></tr> </table>	国有林	34名	民有林	名	事業体	4名	研究機関	名	その他	名	合計	38名	森林作業道に求める「一定レベル」についての基準や指導に必要な細部事項の理解を含め技術の向上を図る。	・既設森林作業道において、一定レベルに達していない請負事業体の技術向上に向けた取組のために作成した森林作業道作設状況確認表（案）の内容の検討、森林作業道作設状況確認表の適否判断基準例（案）に基づく既設森林作業道の作設状況を検討した。	 森林作業道の作設状況
国有林	34名																			
民有林	名																			
事業体	4名																			
研究機関	名																			
その他	名																			
合計	38名																			
森林作業道	森林作業道現地検討会	11月6日	北海道森林管理局資源活用第二課 帯広事務所 根釧西部森林管理署 根釧東部森林管理署	中標津町（根釧東部署国有林）	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>39名</td></tr> <tr><td>民有林</td><td>名</td></tr> <tr><td>事業体</td><td>4名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>43名</td></tr> </table>	国有林	39名	民有林	名	事業体	4名	研究機関	名	その他	名	合計	43名	森林作業道の作設を行う事業体（現場代人及びオペレーター）、資源活用担当者及び監督職員の技術の向上を図る。	・平成26年度の製品生産請負事業で作設した森林作業道を踏査し、盛土締固や分散排水等の状況の適否等についての説明、指導及び意見交換を行った。	 森林作業道の作設状況
国有林	39名																			
民有林	名																			
事業体	4名																			
研究機関	名																			
その他	名																			
合計	43名																			
森林作業道	森林作業道現地検討会	11月7日	北海道森林管理局資源活用第二課 帯広事務所 十勝東部森林管理署 十勝西部森林管理署 十勝西部森林管理署東大雪支署	上士幌町（東大雪支署国有林）	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>28名</td></tr> <tr><td>民有林</td><td>名</td></tr> <tr><td>事業体</td><td>2名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>30名</td></tr> </table>	国有林	28名	民有林	名	事業体	2名	研究機関	名	その他	名	合計	30名	森林作業道の品質について一定水準を確保するため、監督職員の指導基準の統一化を図る。	・森林作業道作設状況確認表（案）、確認表の指導基準（案）について分かりやすいか、現場で指導や改修指示できるものとなっているか等の内容につて、地域コアメンバー及び署の担当者（森林官含む）で検討・議論を行った。	
国有林	28名																			
民有林	名																			
事業体	2名																			
研究機関	名																			
その他	名																			
合計	30名																			
森林作業道	森林作業道現地検討会	11月10日	北海道森林管理局資源活用第二課 旭川事務所 留萌北部森林管理署 宗谷森林管理署	天塩町（留萌北部署国有林）	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>26名</td></tr> <tr><td>民有林</td><td>名</td></tr> <tr><td>事業体</td><td>4名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>30名</td></tr> </table>	国有林	26名	民有林	名	事業体	4名	研究機関	名	その他	名	合計	30名	素材生産事業請負事業体による森林作業道の作設技術を一定のレベル以上に向上させる。	・請負事業体の森林作業道の作設状況について監督職員が確認するための確認表や、それに基づいて請負事業体に指導を行う指導基準について提案がされた後、現地の既設森林作業道を参加者全員で踏査し、意見交換と検討を行った。 ・平成27年度から森林作業道の作設結果を評価し、翌年度の総合評価方式に反映させることとしている。	 現地を見ての意見交換
国有林	26名																			
民有林	名																			
事業体	4名																			
研究機関	名																			
その他	名																			
合計	30名																			

## 平成26年度現地検討会実施状況（間伐の推進と丈夫な森林作業道づくり）

分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
森林作業道	森林作業道現地検討会	11月11日	北海道森林管理局資源活用第二課 旭川事務所 留萌北部森林管理署 上川北部森林管理署 空知森林管理署北空知支署	和寒町（上川北部署国有林）	国有林	43名	一定レベル以上の森林作業道作設に向けた技術の向上を図る。	・森林作業道の作設に当たって事業者の技術向上を図るため、森林作業道に求める「一定レベル」についての基準や指導に必要な細部事項についての理解を深めた。 ・今後は、監督職員の判断基準についての目線合わせが必要であり、研修等で研鑽することを検討。また、事業者へ説明・指導を実施する。	
					民有林	名			
					事業者	6名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	49名			
森林作業道の作設状況									
間伐	林政連絡会議（現地検討会）	11月14日	根釧西部森林管理署	厚岸町（根釧西部署国有林）	国有林	5名	林業機械を活用した低コストで効率的な列状間伐による作業仕組みの普及を図る。	・国有林で実施している高性能林業機械による列状間伐の現地において、実際の作業を視察し参加者自らが作業の効率性・安全性を確認するとともに、事業者より高性能林業機械導入に当たっての各種条件等の留意点について説明するほか、意見交換を実施した。	
					民有林	20名			
					事業者	4名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	29名			
林業機械による伐倒									
間伐	今金町・せたな町森林整備計画実行管理推進チーム合同研修会	11月19日	渡島森林管理署	せたな町（渡島署国有林）	国有林	5名	民有林への列状間伐推進及び高性能林業機械の導入など間伐促進と技術の普及を図る。	・国有林のフィールドを提供し、森林作業道の路網状況、列状間伐の伐採状況、伐採木の搬出状況、土場における巻立状況等を使用機械含めて説明するほか、意見交換を実施した。	
					民有林	16名			
					事業者	6名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	27名			
現地を見ての意見交換									
間伐	林政連絡会議（現地検討会）	11月21日	十勝東部森林管理署	陸別町（十勝東部署国有林）	国有林	6名	民有林における列状間伐の推進に向けた問題点の分析と課題の共有をし、技術の普及を図る。	・人工林間伐要領を説明を行った後、2回目間伐（列状間伐）実行箇所において、高性能林業機械を使用した列状間伐による低コスト化、木材の安定供給、労働安全の向上、間伐列の選定方法などについて意見交換を実施した。	
					民有林	8名			
					事業者	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	14名			
間伐についての意見交換									
森林作業道	森林作業道現地検討会	11月27日	檜山森林管理署	北斗市（檜山署国有林）	国有林	14名	森林作業道に係る基準等の理解を深め、作設技術の向上を図る。	・大野国有林の作設現地において、森林作業道作設状況確認表（案）及び森林作業道作設マニュアル等を説明し、改善箇所の検討、作設方法等の意見交換を行った。 ・主な検討内容：簡易構造物の設置方法、軟弱地盤地での作設方法、盛土転圧の方法、排水処理方法など	
					民有林	名			
					事業者	10名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	24名			
軟弱地盤箇所での作業状況									